

《担当者名》濱田 淳一 jun1hamada@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

感染症の原因となる微生物の特徴、種々の微生物によって引き起こされる感染症の病態を学習し、これらの感染症に対する治療法、予防法を学習する。

【学修目標】

感染症の原因となる微生物の特徴、感染症の病態を説明し、治療法や予防法を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	微生物について	1) 微生物の定義 2) 微生物の発見の歴史 3) 微生物の基本的性格	濱田
2	微生物について	微生物の種類	濱田
3	臨床微生物学 1	呼吸器感染症 (1)	濱田
4	臨床微生物学 2	呼吸器感染症 (2)	濱田
5	臨床微生物学 3	消化器感染症・食中毒 (1)	濱田
6	臨床微生物学 4	消化器感染症・食中毒 (2)	濱田
7	臨床微生物学 5	肝炎	濱田
8	臨床微生物学 6	尿路感染症	濱田
9	臨床微生物学 7	性感染症	濱田
10	臨床微生物学 8	皮膚粘膜感染症	濱田
11	臨床微生物学 9	脳神経感染症	濱田
12	臨床微生物学 10	人獣共通感染症・輸入感染症	濱田
13	臨床微生物学 11	小児の感染症・母子感染症	濱田
14	臨床微生物学 12	新興感染症・再興感染症・感染症法・感染がん	濱田
15	臨床微生物学 13	感染予防策・ワクチン	濱田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

試験（100%）

【教科書】

矢野久子，安田陽子編「臨床微生物・医動物」 ナーシンググラフィカ MCメディカ出版（デジタル教科書）

【備考】

Google Classroomを利用して学習資料などを提示する。授業ごとに小テストをGoogle Formを用いて実施するとともに出席状況を管理する。

【学修の準備】

- ・ 次回の授業範囲を教科書で熟読した上で疑問点を整理しておくこと（30分）。
- ・ 講義終了後は、配布プリントを見直すとともに復習問題がある場合は次回までに解いておくこと（30分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。